

## 令和元年度 第2回 磐田市遠江国分寺跡整備委員会

報告者 室内 美香

1. 開催日時 令和2年2月11日(火) 14:30~16:00
2. 開催場所 磐田市役所西庁舎 302・303 会議室
3. 出席者
  - (1) 整備委員：上原真人委員長、石上英一委員、箱崎和久委員、中島義晴委員、平野吾郎委員、鈴木喜文委員、小池和広委員、澤元教哲委員、小杉達委員、星野勝彦委員、林浩巳委員
  - (2) 助 言：静岡県文化・観光部文化局文化財課 文化財保護調査班 主査 田村隆太郎
  - (3) 磐 田 市：村松啓至教育委員会教育長
  - (4) 事 務 局：市川教育部長、高梨課長、竹内主幹、室内主査、大村副主任、安藤囑託
  - (5) 実施設計委託業者：(株)フジヤマ：渥美、中村、鈴木(加)、前島
  - (6) 傍聴者：なし

## 4. 会議要旨

- (1) 開会
- (2) 磐田市教育長あいさつ
- (3) 静岡県文化・観光部文化課あいさつ
- (4) 整備委員会委員長あいさつ
- (8) 議事
  - [1] 事業全体説明（事務局説明、資料1～資料3）

・再整備事業年表に基づき、今年度事業内容、来年度事業予定を説明

**委員** 整備事業年表に、指定地の買い上げとあるが、令和4年度以降は予定されていないが、令和3年度までの指定地の買い上げで、国分寺の整備にとって十分なのか。

**事務局** 現在のところ令和4年度以降買い上げの予定はないが、遠江国分寺跡伽藍周辺地で、もう使っていない、売ってもよいというところが出てくれば、特別史跡に指定する手続きを経て、指定後に買い上げるという二段構えの作業を行っていく。今回の整備に間に合わなくても、40年度か50年後の再々整備の時になるかもしれない。

**委員** 最近、国分寺史跡公園内の看板が落書きされた事件があったが、それをうけて自治会にも話をした。公園内を回ってみたが、外から見えにくい、影になっている部分がある、早めに樹木整理をしてほしい。いろいろな人の目があればいたずらも減るのではないかと。

**事務局** 来年度も史跡公園北側を中心に樹木整理をしていく。今年度は薬師国分寺の方も樹木整理をしているので、3月末には樹木がかなり整理されている様子が見られると思う。

**委員** 樹木整理というのは、根までとるのか。

**事務局** 伐根はしない。

**委員** 根をほじると遺跡が痛むので根は残さなくてははいけません。根を腐らせるしかありません。いたずらの対象になるようであれば、見通しをよくすることも大切だと思う。だが、木を切るということは大変で、切った後長い時間をかけて腐らせるのに、大変時間がかかる。

[2] 復元整備の実施設案について（事務局説明、資料4）

①僧房・講堂跡の木装基壇復元について

事務局

- ・木装基壇復元は現代の工法で造ることになる。
- ・講堂の基礎構造はL字コンクリート、僧房は長方形コンクリートブロックで土留めを行う。
- ・木材は、ガラスコート材という、液体ガラスを木材内部浸透処理させたヒノキ材を候補として考えている。澤元委員より推薦をうけた素材である。木材内部にガラスを含侵処理させることで、木材の強度を高め反りや割れなどを防いで、防腐、シロアリ対策を高めた部材である。隈研吾氏のデザインや浅草寺参道の木道などに採用されている。

澤元委員

- ・液体ガラス処理の木材は、まだ新しい技術で、実績は10何年だが、実験では20年はもつといわれている。隈研吾氏の設計した新国立競技場に採用されていたり、いろいろ資料を見たり、実見してみても、一番推薦できる素材であると考えている。

事務局

- ・液体ガラス処理の木材、前回の委員会で候補にあがったエコアコールウッド、擬木、それぞれで施工した場合の概算費用を出してみたが、液体ガラス処理の木材は、擬木よりは費用はかかるが、エコアコールウッドよりは安価である。液体ガラス処理の木材であれば、本来の木の質感が再現できること、擬木の場合補修費用も考えると擬木ととの価格差も小さくなるのではと考える。費用や特色を総合的に比較し、事務局としては液体ガラス処理の木材で木装基壇を復元できればと考えている。

<質疑応答、意見>

委員 液体ガラス処理の木材は変色しないのか、木の中の部分はどうなるのか、滑りやすくなるのか。

澤元委員 今まで見たものは変化していない。10年以上経過したものを写真でみたがあまり変化していない。滑りやすさについては、表面処理で対応できる。

委員 メーカーの耐候試験結果はどうなっているのか。

フジヤマ 試験結果で20年はもつという結果がでている。実績は12年くらいである。

委員 傷はつきにくいのか。

澤元委員 ガラスが入っているため固い、傷はつきにくい。

委員 この素材を導入する場合、メーカーの名前が出ていたが、競争原理は働くのか。

フジヤマ 業界の中でもかなり新しい製品であり競争原理は働かないと思う。

委員 メーカーは一社ということだが、施工は市内業者でできるのか。

澤元 静岡市に代理店がある。

委員 公的施設で、木で造りましょうという方向性で動いている、この材を使う方向はこれから出てくるのではないのか。

澤元 一番使っているのは隈研吾氏である。

委員 話題にはなる。経費の問題はあるが、実績の場がまだない世界なので、結果がどうなるかはわからない。

委員 木装基壇で復元すること自体リスクがあり、そのリスクを承知の上で復元しようと

しているので、二重のリスクがあってもトライしてみたらいいのでは。

**委員** この素材を思い切って使って、安い材で復元するのではなく、先進的な素材も使用することで、今後大切にしていくのだということを、文化庁にアピールしてきてほしい。

**委員** 文化庁の補助金をもらわなくてはならないので、文化庁の方にも納得していただかないといけない。

**委員** この整備委員会としては、液体ガラス処理技術を使った木材を使用することについて、前向きに進めましょう。

## ②施設整備について

### **事務局**

#### [舗装]

車両が通行する周回園路、歩行者のみのメイン園路、車いすで周回できるサブ園路、基壇周辺は舗装を行う。車両が通行する園路については脱色アスファルト舗装を行いたい。メイン園路や基壇上面や周辺の舗装については、高炉水砕スラグを用いた舗装材を考えている。スラグを用いた舗装の利点は、透水性に優れ、歩行者の足腰にやさしく、表面温度の上昇も抑えられることがあげられる。

基壇上面の舗装については、本日の専門委員会の中で再検討の指示があるため、保留とさせていただきたい。

#### [石の再利用]

舗装と縁に縁石や境界を設けることになる。現在の史跡公園で使われている既存基壇の縁石（白色系の花崗岩）を縁石として再利用していく。

#### [磐田市のスラグ再利用]

前回の委員会で、磐田市クリーンセンターで生成されたスラグが原料として使えないかという意見をいただき担当の環境部とも検討をしている。事前に市のスラグのサンプル分析を行って可能であれば採用し、条件があわないようであれば本日資料にて提示したカラーサンドの舗装材を採用していきたいと考えている。

#### [階段]

遺構の復元ではなく、基壇に上り下りするための公園施設としての階段である。既存基壇の縁石を再利用した階段を考えている。

#### [植栽]

全体芝貼りとしたい。芝にも野芝や高麗芝があるが、省管理型の芝もあるため、これらの種類を比較しながら種類を選定していく。

#### [ベンチ]

木製調で背もたれ無しのタイプを採用したい。木製調の材料は間伐材のチップと粉碎した廃プラスチックを混合させて溶かしたものである。紫外線や汚れに強い素材である。ベンチの周囲は脱色アスファルト舗装を行うようにしたい。基礎埋め込み式のベンチを採用する。基礎埋め込み以外に据え置き式のタイプもあるので、遺構面との調整によってベンチのタイプは変えていく。

#### [車止め]

LEDのソーラーフラッシュが付いた車止めで、反射板もついたタイプを採用したい。

## 〔花壇〕

花壇の縁石には、現在の史跡公園で使用している園路縁石を再利用したい。花壇の設置については文化庁より、異動可能で遺構を復原したという誤解を与えないデザインにするようにと指導されている。花壇の設計については、花の管理を行っている団体と事前に話をし、了解をいただいている。

### <質疑応答、意見>

**委員** 階段のデザインは基壇に上がる一番下の段石が幅広くその上に側石が乗る形のほうがよい、意匠的なものだが。

**委員** 階段の一番上の段と葛板が同じ高さになっている、一番上はいらぬ。最後の階段を昇ったら葛板の上面に乗るような形にしたほうがよい。

**委員** 基壇上面の舗装については、専門委員会のほうでは、透水性のある舗装で基壇上面を舗装すると、基壇内部に水がたまりプールのような状態になり、土圧で木装基壇やその内部のコンクリート壁が壊れる心配があるのでは、浸透しない舗装を検討したほうがよいのではないか、という意見がでた。そのため、基壇上面舗装の設計については修正されるということをご了解いただきたい。

**委員** ベンチの基礎は埋め込み式とのことだが、腐りやすいので点検をしっかりとしてほしい。スラグ舗装は大池周辺のところにあるが、とても歩きやすい。花壇を管理している方が高齢化しているのでは、いつまで管理してくれるのか検討しておいてほしい。

**委員** 史跡公園内の縁石が再利用されるのは大変よいことだ、なるべく有効利用をしてほしい。

### [3] その他（事務局説明）

**事務局** 今年度事業で宗教法人国分寺の薬師堂の解体作業が行われている。本尊の薬師如来の修理をするが、国分寺の歴史を知る資料であり、仏像の年代測定を依頼している。木材の伐採年や樹種を調べる予定である。江戸時代の仏像ときいているが、それを裏付けるデータを得るためである。

**事務局** 現在、史跡内にある財務省管轄の無番地の土地について市への譲渡手続きをしているが、年度内には市に譲渡されるのではという見込みである。その後は、国土調査の審査、番地をつけて登記しそれから、追加指定のための作業をしていく。

### <質疑応答、意見>

**委員** 八幡宮の役員会があり、そこで出た話だが、大型バスで八幡宮と国分寺を見学する人がバスを止めさせてくださいとってくる。国分寺整備が完成すると、大勢の見学者がくるだろうから、八幡宮と連携を密にして駐車場のことを考えておいたほうがよい。

**委員** 磐田南高校が校舎を改築して北に建てるという話をきいている。今の校舎の下にはいっぱい遺跡がある、という話もきいている。南高校の改築と国分寺跡整備は関連しているのか。全く関係ないのか。

**事務局** 現在進めている国分寺跡整備はあくまで特別史跡指定地の範囲での再整備ということですのですすめている、南高建て替えと直接関係していない。

**委員** 南高校地内の遺構について、とにかく残してもらい、何十年後かわからないが、再々整備の時に、南高校地内も含めて整備ができるという話がでてきたら、ちゃんと対応できるような状況になっていけばよいのではないか。

(6) 閉会

空白